

経済指標ウォッチャー

米国雇用統計 非農業部門雇用者数は大幅に予想を上回る

政策、金融の両面のサポートから、雇用改善は継続する見込み

米国雇用統計とは？

米国の雇用情勢を調査した統計で、米国労働省が公表。米国雇用統計は速報性が高く、原則として毎月第1金曜日に公表される。

米国の金融政策を見通すうえで、雇用関連指標の代表である雇用統計の重要度は高く、投資家の関心が集まる経済指標。

非農業部門雇用者数は市場予想を大きく上回る

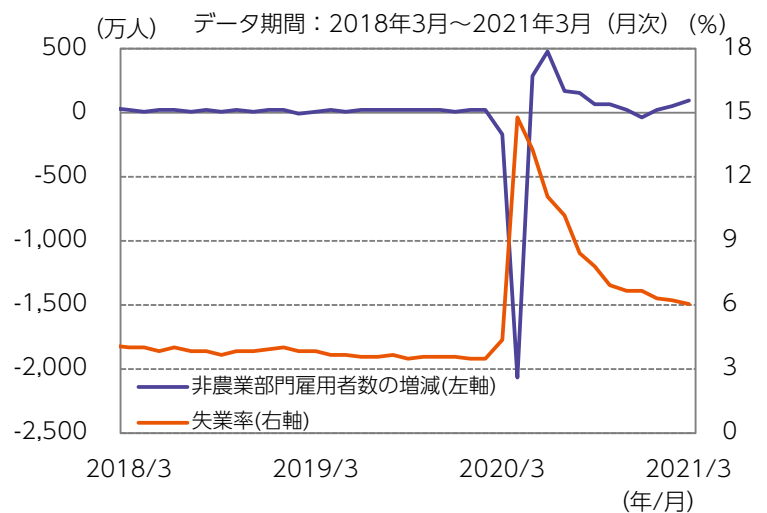
4月2日に米国労働省が公表した2021年3月の雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比91.6万人増と市場予想の同66万人増を大幅に上回る結果となりました。失業率は6.0%と前月から0.2%低下しており、雇用の改善が継続しているものと思われます(図表1)。新型コロナウイルスワクチン接種の進展等を受けて、外出制限や外食制限等が解除されたことにより、飲食等を中心とした娯楽・宿泊業の雇用者数が同28万人増と大きく改善しました。

今後も雇用改善が続く可能性は高い

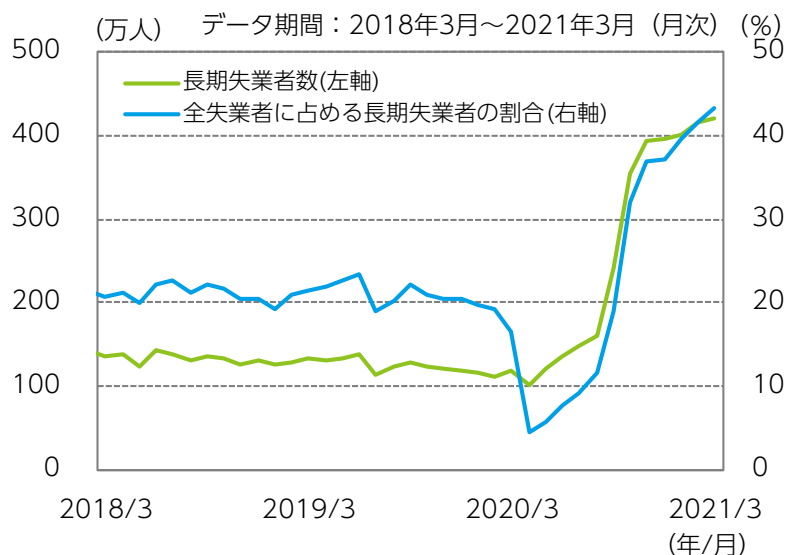
足元では雇用改善が進んでいるとみられるものの、失業期間が27週間以上になる長期失業者は3月に7万人増えて421.8万人と約7年ぶりの高水準となっています。さらに、失業者全体に占める長期失業者の割合は43.4%となっており、職探しの困難さが深刻な状況は続いているとみられます(図表2)。しかし、追加の失業給付が9月まで延長されており、長期失業者の状況は数字ほど悪くないとの声もあります。

ワクチン接種の進展や米国政府による追加経済対策を背景に、景気回復が加速するとの期待もあり、雇用も改善していくとの見方が市場では大勢を占めています。バイデン大統領は3月31日に公表したインフラ計画が実施されれば、10年間で1,900万人の雇用を創出できると発言しています。FRB(米連邦準備制度理事会)も雇用が改善するまで低金利を継続することを明言しています。政策、金融の両面からのサポートを受けて今後も雇用改善は続く可能性は高いものと思われます。

図表1：非農業部門雇用者数の増減と失業率



図表2：長期失業者数と全体に占める割合



出所) 図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>